

第25回カレンダー市会場までの交通手段につきまして

■アクセス

会場までの交通手段として下記の2つの方法をお伝えしておりましたが、

①の阪急神戸線「武庫之荘」駅(北)を出発するバスが、土日祝は運休していることが判明しました。

*平日は動いています。

■アクセス方法(土日祝の阪急線武庫之荘からお越しの場合)

(1)3番乗り場(北)の金井町ゆきに乗車後3駅で会場(武庫西生涯学習プラザ前)に到着。

(発車本数が、かなり少なめです)

(2)1番乗り場(北)45系統「武庫営業所」ゆき、もしくは2番乗り場(北)41系統「宮ノ北団地」ゆきに
乗車後「武庫の郷」で降車、尼宝線を北上していただき、徒歩5分ほどで会場に到着いたします。

(3)阪急神戸線「武庫之荘」駅(北)から会場まで徒歩で約20分です。

■ カレンダー市開催場所

尼崎市立武庫西生涯学習プラザ

(尼崎市武庫の里1丁目13番29号)

①阪急神戸線「武庫之荘」駅(北)から阪神バス(尼崎市内線)41-2番「宮ノ北団地」ゆき「武庫西生涯学習プラザ前」下車すぐ

②阪神電車「尼崎」駅(南)から阪神バス「宝塚」ゆき「武庫西生涯学習プラザ前」下車すぐ



4. 売上げの使途

当団体は阪神・淡路大震災を機に発足し、災害救援活動を行っています。これまで国内外のさまざまな災害に携わってきました。現在は令和2年7月豪雨、西日本豪雨災害、九州北部豪雨災害、東日本大震災など被災地の支援活動を継続しています。売上げは、これら災害の被災者の直接支援活動資金やコーディネートなど間接経費として使用するほか、この度の開催会場となる尼崎市武庫地区の地域支援にも活用させていただきます。

5. カレンダーの受け入れにつきまして

カレンダーおよび手帳をご寄贈くださる企業さま、個人の皆さま、いつもありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回は「受入れの場所が変更」となっております。

また、会場の都合上、例年より部数を減らしての受け入れとさせていただきます。

何卒ご理解の上、ご協力よろしくお願い申し上げます。

* 不用となった2022年のカレンダーを受入れさせていただきます。

2021年以前の古いカレンダーのご送付は、ご遠慮ください。

* 誠に勝手ながら、カレンダーの受入れ日を次のように指定させていただきます。

● **必ず期日指定でお送りくださるようお願いいたします。**

申し訳ありませんが、送料はご負担下さいますようお願い申し上げます。

【受入日】 2022年1月6日（木）・7日（金）の2日間 10時～16時

【送付先】 〒661-0041 尼崎市武庫の里1丁目13番29号

尼崎市立武庫西生涯学習プラザ内 武庫地域課宛 電話 06-6431-7884

収容スペースが非常に狭くなっているため、受け入れ数量を下記の通り制限させていただきますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

● 1企業あたり カレンダー50部以内（内、同一のカレンダーは30部以内）
卓上カレンダーは30部以内

ノート型日記帳、小手帳等は制限なしで受け入れさせていただきます。

* カレンダー受入れについてのお問合せ先

認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク

電話：0798-34-9011 月～金（10：00～17：00）

休日：土、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

カレンダー市とは

企業等では、不用となった大量のカレンダーが処分されている一方で、当時、阪神・淡路大震災の被災地では、欲しいと思ってもカレンダーが手元に届かない状況がありました。必要とする方に不用となったカレンダーを提供したい。そのような思いで1997年から「チャリティーカレンダー市」を開始しました。

「チャリティーカレンダー市」を始めたもう一つの理由は、地球温暖化など環境問題がクローズアップされるなか、カレンダーの紙は樹木が原料であることに着目し、紙を樹木に戻す運動にしようと考えました。カレンダー市をはじめた当初は「みどり1本運動」と称し、売り上げは、植林活動を行っている団体等に寄付しておりました。現在は、近年多発している災害に対応すべく、東日本大震災をはじめ国内外の災害救援支援活動に使わせていただいています。

また、被災地の仮設住宅等にお届けしているほか、余ったカレンダーにつきましては保育園、幼稚園、病院、介護施設関係などで活用させていただいたり、リサイクルに出すなど有効に使用させていただいております。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。